平成27年度　ＦＤ活動報告　　工学域

## １　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・　工学域教育運営委員が主体となり、工学域全体のFD活動を実施している。

・　各課程では、さらに、授業アンケート、オフィスアワーの設定、ピア事業参観、実験・講義科目別の情報交換会、職員会議などを定期的に実施し、学習成果についての自己点検・評価と、教育の質の改善・向上に関する取り組みを個別に実施している。

## ２　ピア授業参観実施状況

| 期間 | 公開授業数 | 参観者数 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| 前期 | 52 | 20 | 応用物理実験；機構教員によるビデオ撮影が実施された。(授業数は、参観された数ではなく公開対象とした数を記載している。) |
| 後期 | 53 | 11 | |
| 年度合計 | 105 | 31 | |

## ３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

| 開催日 | 内容（タイトル） | 種別 | 参加者数 |
|---|---|---|---|
| 3月3日 | JABEE 審査結果および海洋システム教育プログラム | 講演会 | 17名 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

## ４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

| 会議・委員会名 | 内容 | 回数 | 委員数 |
|---|---|---|---|
| 工学域教育運営委員会 | 工学域全体のFD活動の企画、実施 | 10回 | 20名 |
| 各課程のFD委員会 | 各課程の講義科目・演習科目の改善のための委員会 | | |
| | | | |

## ５　その他取り組みの具体的実施状況

・　JABEE審査におけるカリキュラムの改善例などに関する講演会を実施し、改善に関する情報共有を行うとともに、各課程でのFD活動に役立てている。

平成27年度　ＦＤ活動報告　　工学研究科

## １　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・　工学研究科教育運営委員が主体となり、工学研究科全体のFD活動を実施している。カリキュラムの改善例などに関する講演会を実施し､改善に関する情報共有を行うとともに、各分野でのFD活動に役立てている。

## ２　ピア授業参観実施状況

| 期間 | 公開授業数 | 参観者数 | 特記事項 |
|---|---|---|---|
| 前期 | 25 | 1 | （授業数は、参観された数ではなく公開対象とした数を記載している。） |
| 後期 | 22 | 18 | |
| 年度合計 | 47 | 19 | |

## ３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

| 開催日 | 内容（タイトル） | 種別 | 参加者数 |
|---|---|---|---|
| 3月3日 | JABEE 審査結果および海洋システム教育プログラム | 講演会 | 17名 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

## ４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

| 会議・委員会名 | 内容 | 回数 | 委員数 |
|---|---|---|---|
| 工学研究科教育運営委員会 | 工学研究科全体のFD活動の企画、実施 | 10回 | 20名 |
| 各分野の大学院入試検討委員会 | 大学院の入試問題作成・点検のための委員会 | | |
| 各分野のFD委員会 | 各分野の講義科目・演習科目の改善のための委員会 | | |
| | | | |

## ５　その他取り組みの具体的実施状況

・　大学院の講義科目に関して前期・後期に独自の授業アンケートを実施。
　回答数：前期　1932件（71科目）後期　653件（62科目）

2016.3.31

# H28 年度の工学域・工学研究科の FD 活動計画

(1)　学域・研究科の教育運営委員会で FD 活動の企画および実施する。
　　（各課程および分野の教育委運営委員会）

(2)　学域・研究科における独自のセミナーおよび講演会の企画及び実施する。
　全学の FD 活動への参加を促進する。

(3)　工学研究科においては、講義・演習の科目において独自の授業アンケートを実施し、講義および演習の授業改善を行う。
- 特に、博士前期課程英語オプションコース（H26 年より開始）の講義科目の充実に関して検討する。

(4)　学域および工学研究科におけるピア授業参観の参加者を更に増加させ、授業改善を行う。

(5)　各課程・分野において FD 会議を開催する。
- 各課程および各分野における授業改善のための FD 活動を実施する。
- 講義科目間の講義内容およびカリキュラム構成等の調整および検討を行う。

(6)　大学院入試における適切な問題作成および作成問題の点検等に関して各分野の入試委員会で検討を行う。

(7)　大学院前期課程学生の研究の進捗状態の確認を行うとともに、適切な指導を行うために、中間発表会あるいはポスター発表会等の開催について検討する。

（以上）